

聞き上手も営業に向いています。
話すことが得意じゃなくても大丈夫。



何車もチャレンジ

中島 章雄 さん(1991年生まれ)

名古屋大谷高校 出身

愛知学院大学 総合政策学部卒業

日産プリンス名古屋販売株式会社

名古屋市千種区吹上1-4-1

<https://np-nagoya.nissan-dealer.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 普通自動車運転免許
- 主な進路 / 高校卒業→4年制大学を卒業→自動車ディーラー(自動車販売店)に就職→営業として勤務

「高校生活の思い出は、友人とたくさん遊んだこと。特に記憶に残っているのはママチャリで岐阜県まで行ったことです。いま思ふと、高校生だからできたことですね(笑)。将来の進路は大学で考えようとしたのですが、さまざまな分野が学べる愛知学院大学総合政策学部に進学しました」

大学時代のことを教えてください。

「心理学を専攻し、人の表情から気持ちを考える講義などを受講しました。もともと人見知りな性格で人と話すことが苦手でしたが、大学の課外授業で初対面の人(インタビューをする機会もあり)と接すことへの苦手意識を少しづつ克服できました。飲食店のアルバイトでは、接客をしなくてもいい洗い場だけでなく、人前に出るホールにも積極的に入りました。同時に車にも興味をもち、アルバイトで稼いだお金で中古車を購入して大学も車で通学していました」

就活について教えてください。

「就活では、自分の努力次第で成長できそうなディーラーの営業職を志望し、ゼミの教授から助言を受けながら何社もの面接を受けて場数を踏んでいきました。そのかいもあり、第一志望だった日産プリンス名古屋販売に内定をいただきました」

「入社後すぐに1ヶ月間の新人研修を受けました。その後、販売店に配属され、先輩のサポート業務をしながら仕事を覚えていきました」

現在の仕事内容を教えてください。

「店舗にご来店いただいた新規のお客様の対応をして車を販売することとはもちろん、すでに日産車に乗られているお客様から依頼を受けて新たな車をご提案することもあります。また、日々の点検や、お客様との信頼関係の構築も、とても重要な業務のひとつ。さまざまなお客様がいらっしゃるため、マニュアルどおりの接客ではなく、一人ひとりに合わせた対応を心がけています」

やりがい

『ありがとうございます』と感謝の言葉をいただいたときに、この仕事を選んでよかったです。普段の対応をしているだけでは感謝の言葉はいただけないので、いつもお客様の想像を超える対応ができるように心がけています。営業にとってうれしい瞬間は、やはり車が売れたときです。お客様のうれしさのピークは納車の瞬間。お客様の気持ちのビーグルに向けて、こまめに連絡をするようにしています。『中島さんですかが一番やりがいを感じる瞬間です』

— 学生時代 —

— なるためには —

「自動車販売の仕事なので、普通自動車免許(マニュアル)が必要です。



22歳

あこがれの日産ディーラーに就職。先輩のサポートをしながら仕事を覚える。

26歳

業務にも慣れ、仕事を楽しめるようになります。現在の職場である販売店へ異動。

28歳

お世話をなった先輩のように、後輩を支えられる存在をめざす。

「ありがとうございます」といいました。

「自動車販売の仕事なので、普通自動車免許(マニュアル)が必要です。当業の仕事は、話すのが得意でよくしゃべる人が向いているようと思われがちですが、僕自身あまりたくさん話す方ではありません。どちらかというと聞き上手なタイプも営業に向っていますよ。高校生には、まずは何事にもチャレンジしてくださいですね。人見知りだった僕が、人前に出て初めて『意外と楽しいかも』と気づけたように、普段飛び込もうとする世界に挑戦すれば、新たな発見があると思います」

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



学生をシイエム・シイのファンにさせることが私の仕事です。

明るく! 楽しく!
元気よく!!



松田 萌さん(1994年生まれ)

名古屋南高校 出身
中京大学 卒業

株式会社 シイエム・シイ

名古屋市中区平和1-1-19
<https://www.cmc.co.jp/>

なるためには

●必要資格 / 特になし

●主な進路 / 高校卒業→大学でマーケティングや商品企画、販売促進について学ぶ→マーケティングをおこなう企業に就職→人事室に配属

ー 学生時代

中学までは吹奏楽部に入っていたのですが、高校では新しい楽器を始みたいと思い、軽音楽部に入りました。ギターとキーボードを担当し、バンドに熱中した高校生活です。当時はマーケティングや経済、経営について興味があったので、中京大学総合政策学部に進学しました。印象に残っているのは、産学連携で学んだゼミでの経験。地元の企業とコラボして新商品を企画したり、若者販促のアイデアを出したりしました。決められた商品を売るのではなく、自分で何かを企画する仕事がしたいと思い、広告関係の会社を軸に就職活動をおこないました」

ー 仕事について

「大学卒業後、製造業やサービス業、教育機関などさまざまな業界に対しまーケティングをおこなうシイエム・シイに就職しました。私は人事室に配属され、1年目はOJTで新卒採用の仕事を覚えていきました。採用の仕事は年単位でスケジュールが組まれているので、まずはそのフォローを経験することから。会社説明会や学校訪問、面接の受け入れ対応などを任せられました」

「大切なことは?」を考えていました? 多かったのです。私は基本ポジティブで、「なんとかなるさ」の精神で最初は深く考えていませんでした(笑)。でもいまは、目的意識をもつて無駄

ー なるためには

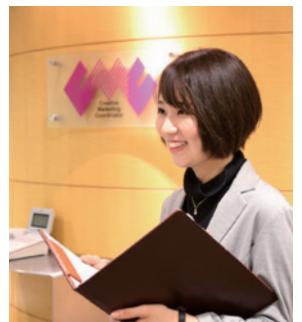
「相手に与える印象が大事なので、明るい人に向いている仕事だと思います。あとは、学生目線に立てる人。1年目といまを比べると、会社のことや社会を深く知った分、話せる内容も増えています。でも、それではなく、相手に理解できる言葉にしていくことを心がけています」

現在の仕事内容を教えてください。

「学生からしたら採用担当の私たちが会社の顔。会社の印象を左右する立場だと思います。会社説明会や面接、インターネットショップなどを通じ、学生をシイエム・シイのファンにさせることができるのが私の仕事です。業務の効率化を図ることも大切ですが、何回も学生に会って生の声を伝えたり聞いていたり、人対人のやりとりも大切にしています。採用で重要なのは会社とマッチングするかどうか。個性は誰にでもあります。そのなかで、社風やカラ―に合った学生を採用できるように心がけています」

ありがとうございました。

「相手に与える印象が大事なので、明るい人に向いている仕事だと思います。あとは、学生目線に立てる人。1年目といまを比べると、会社のことや社会を深く知った分、話せる内容も増えています。でも、それではなく、相手に理解できる言葉にして話すことが大切です。学生のみなさんは、まだ社会に守られていました。規制も少なく自由です。失敗を恐れず、いろんなことに取り組んでください。何度も失敗できるのはいまのうちですよ!」



18歳

バンド活動に熱中した高校時代。大学に進学し、マーケティングなどを学ぶ。

22歳

シイエム・シイに就職。常に目的意識をもつことの大切さを実感する。

25歳

現在3年目。自分の意思をしっかりともって働けるようになり、成長を実感。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



AMBITIOUS#021 / 販売員(紳士服)



水鳥 佑香 さん(1996年生まれ)

名古屋女子大学高校 出身
名古屋学院大学 商学部卒業

株式会社ジェイアール東海高島屋

名古屋市中村区名駅1-1-4
<https://www.jr-takashimaya.co.jp/>

なるためには

●必要資格 / 特になし
●主な進路 / 高校卒業→大学でマーケティングや顧客心理について学ぶ→百貨店に就職→紳士服売場に配属

――仕事について――
「昔から高島屋に足を運ぶ機会が多く、幅広い世代のお客様が楽しめてワクワクする空間に魅力を感じていました。私も販売員として、名古屋を盛り上げていきたいという想いを盛り上げていきました」

――やりがい――
「お客様が笑顔で商品を購入してくれたときにやりがいを感じます。『ありがとうございます』また来るね」と言つて、再来店してくださるお客様もいらっしゃり、本当に感謝の気持ちでいっぱいです」

- 18歳 マーケティングや経営戦略に興味をもち、名古屋学院大学商学部へ進学。
- ↓
- 22歳 顧客心理や商品企画を学ぶ。大学卒業後、JR東海高島屋に就職。
- ↓
- 23歳 CSケーススタディに配属。何事にも積極的に挑戦中!

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>

――「お客様の生活が豊かになるように」との願いを込めて仕事に取り組んでいます。――

――学生時代――

「中学高校と体育祭や学園祭などの学校行事に力を入れていました。クラス全員でひとつ目標に向かって取り組むことで、協調性や助け合う気持ちが養われたと思います。当時、マーケティングや経営戦略に興味があったので、名古屋学院大学の商学部商学科に進学しました。オーブンキャンパスに参加し、キャンバスが新しくてきれいだつたことや、先生や大学の雰囲気がよかったです。」

――大学時代のことを教えてください――

「ゼミではマーケティングを中心

に、顧客心理や商品提案などを勉強

しました。お菓子や便利グッズなど

の新しい商品企画をする講義も楽

しかったです。なんとなく過ぎる4

年間はもつたいないと思っていた

ので、大学では何か打ち込めるもの

を見つけたいという目標がありました。

した。軽音楽部に入り、部員をまと

める立場も経験し、部活を4年間や

り遂げたことがいまの自信につな

がっています。あとは、キャラクセ

ンターのサポートが充実している

ところが大学の魅力です。面談を通

して自分に向いている進路につい

てのアドバイスをもらい、接客販売

の道に進むことができました」

――やりがい――

「お客様が笑顔で商品を購入して

くれたときにやりがいを感じ

ます。『ありがとうございます』また来るね」と

言つて、再来店してくださるお客様もいらっしゃり、本当に感謝の気持ちでいっぱいです」

――なるためには――



「どの仕事を同じだと思いますが、慣れるまでは、うまくいかずもどかしい思いをすることが多いです。それでも私は、何事にも積極的に挑戦するようにしていました。失敗から学ぶこともたくさんあります。高校生の私は、自信がもてず中途半端にあきらめばかりだったので、それが社会に出て成長できた部分だと思います。みなさんも、無理だと感じることでも挑戦してみてください。挑戦を重ねながら、自分に向いている道を見極めてください。毎日がイキイキしてきますよ!」

ありがとうございました。



仕事の原動力は、利用者さんに笑顔でいてほしいという思い。



中村 秀人さん(1995年生まれ)

名古屋経済大学市邨高校 出身

同朋大学 社会福祉学部社会福祉専攻卒業

社会福祉法人愛知県厚生事業団

名古屋市東区出来町2-8-21

http://www.ai-kou.or.jp/

なるためには

- 必要資格 / 介護福祉士 ※必須ではない
- 主な進路 / 高校卒業→福祉関係の大学に進学→介護福祉士の資格を取得→介護施設に就職

えています】

【**1 仕事について**
「大学卒業後、愛知県厚生事業団に就職し、現在は愛厚ホーム瀬戸苑で働いています。最初に教わったのは、利用者さんとの関わり方。利用者の名前を覚えたり、特徴をつかむことから始めました。それぞれの特徴に合わせた介助の仕方を考えていきます」

【**2 現在の仕事内容を教えてください。**
「仕事を原動力は、利用者さんに笑顔でいてほしいという思い。『何を社会保障や福祉制度について学びました。介護技術では、車椅子からベッドへの移乗介助や食事介助、視覚障がい者に対する介助などを、学生同士で演習をして学びました。2年次からは現場実習が始まります。教科書どおりにいく場面もありましたが、応用力が求められる場面もたくさんあり、現場から学ぶことも多かったです。学生同士で演習するのと麻痺のある患者さんへ介助するのとでは、やっぱり感覚が違いますね。利用者さんの状態に合わせて、大学で学んだ基礎をどう応用するかが大切だと実感しました」

【**3 現在の仕事内容を教えてください。**
「利用者さんからの、「あなたがいてくれてうれしい」という言葉が仕事をモチベーションになりますし、信頼関係が築けているのかなとう自信にもつながります。普段うまく話せない利用者さんもいるので、『おはよう』や『ありがとうございます』など、気持ちがつながったときのやり

【**4 仕事に対する思いは?**
「介護福祉学部に進学しました」

【**5 大学時代について教えてください。**
「大学時代について教えてください。」

**— 学生時代 —****— なるためには —**

「福祉の道を志したのは17歳のときです。母方の祖母が亡くなつたのですが、遠くに住んでいたため、「何もしてあげられなかつた」という後悔が自分の中にありました。祖母にはできなかつことを、社会に出て高齢者の方たちにしていただきたいと思ったことがこの道を選んだきっかけです。高校卒業後、同朋大学社会福祉学部に進学しました」

【**6 仕事に対する思いは?**
「仕事を原動力は、利用者さんに笑顔でいてほしいという思い。『何を社会保障や福祉制度について学びました。介護技術では、車椅子からベッドへの移乗介助や食事介助、視覚障がい者に対する介助などを、学生同士で演習をして学びました。2年次からは現場実習が始まります。教科書どおりにいく場面もありましたが、応用力が求められる場面もたくさんあり、現場から学ぶことも多かったです。学生同士で演習するのと麻痺のある患者さんへ介助するのとでは、やっぱり感覚が違いますね。利用者さんの状態に合わせて、大学で学んだ基礎をどう応用するかが大切だと実感しました」

【**7 現在の仕事内容を教えてください。**
「起床介助や移乗介助、食事介助などを通し、利用者さんの日々の生活を支えています。同じフロアの職員同士で声をかけあい、情報共有しながら仕事を進めることを心がけています。利用者さんのケアプランを考えるケアマネジャー、施設への受け入れなどを担当する社会福祉士、看護師との連携がとても重要です」

【**8 仕事に対する思いは?**
「ありがとうございました。」

【**9 なるためには?**
「必須ではありませんが、私のように介護福祉士資格を取得して働きはじめることをおすすめします。そのほうが仕事に慣れるのが早いと思いますよ。あとは、利用者さんの行動を見て気持ちを受け取ること。普段と様子が違うのをすぐに察することも求められます。高校時代は見えている世界がまだ狭いと思うので、視野を広くもち、友達との関わりを大切にしてほしいです。そのなかで得た経験は、介護現場に限らず、どんな仕事にも共通して役立つと思いますよ」



17歳 自身の経験がきっかけで介護福祉士を志す。高校卒業後、同朋大学へ。

↓
22歳 法律や福祉制度、さまざまな介護技術を学ぶ。介護福祉士資格を取得。↓
24歳 ほかの職員と連携をし、日々の仕事を通して利用者さんを笑顔に!

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

http://amb100search.com



モノを売るというよりは、次につながるニーズを引き出していくことが重要。



近藤 雅也さん(1992年生まれ)

南山高校出身

南山大学 外国語学部卒業

日本車輌製造株式会社

名古屋市熱田区三本松町1-1
<https://www.n-sharyo.co.jp/>

なるためには

●必要資格 / 特になし

●主な進路 / 高校卒業→大学で語学を学ぶ→鉄道車両や建設機械を製造・販売する企業に就職→研修後、建設機械の営業として勤務

「中学生のときから英語の個人塾に通っていて、英語は得意科目のひとつでした。「どんな仕事に就くとしても語学力は必須になる」という塾の先生のアドバイスもあり、高校卒業後、南山大学外国語学部に進学しました。1~2年次は、英語の基礎力を上げる講義が中心。3年次からはゼミを選択し、私はアメリカの歴史を専攻しました」

就職活動について教えてください。

「業種は特に限定せず、金融からメーカーまで幅広く説明会に参加しました。そのなかで感じたのは、誰もがわかる製品に携わりたいと思うようになり、日本車輌製造株式会社を志望しました。鉄道車両や輸送機器、杭打機などの建設機械を設計・製造するスケール感に魅力を感じたからです」

――仕事について――

「まずは、会社の幅広い事業内容を覚えることから。調達部や製造部など工場内のいろいろな部署の仕事を経験しました。実際に製造ラインに入つて溶接・加工などを経験したり、CADを使って簡単な図面を設計したりしました。研修を終え、最初の1年間は、先輩に付いて同行営業を経験。先輩とお客様のやりとりを聞いて提案の仕方を学び、経験を積みながら製品や工法の知識などを手探りで勉強していました」

――やりがい――

「やりがいを感じるのは、販売した建設機械が現場で使われている様子を見たとき。建設会社によってはオリジナルカラーで納品をするので、自分が販売した建設機械は遠くからでもよくわかるんです。実際に建設機械に乗っているオペレーターさんから、「あのオプションを付けてよかった。使いやすいよ!」と言われたときもうれしいですね」

――学生時代――

――なるためには――



「私が販売している製品は1億円以上のものもあります。この機械を本当に販売してもいいのか?」と、与信管理をするにあたり、お客様の決算書を分析する必要があります。

ファイナンス会社があいだに入ることが多いですが、簿記の知識は仕事を役立ちますよ。高校時代は、部活でも勉強でもいいので、何か熱中しているときに見つけてください。たゞ漠然と時間を過ごすのはもったいない。社会に出てから振り返ったとき、「これを頑張った!」というものがいると強みになると思います」

「ありがとうございます」といいました。

「お客様からは『あれもしたい。これもしたい』と、いろいろな要望が出てきます。営業としてはすべて叶えてあげたいのですが、法規制や安全面などを考慮してバランスをとり、実現可能な提案を心がけています」

「お客様からは『あれもしたい。これもしたい』と、いろいろな要望が出てきます。営業としてはすべて叶えてあげたいのですが、法規制や安全面などを考慮してバランスをとり、実現可能な提案を心がけています」

18歳
↓
22歳
↓
28歳

英語が得意だったこともあり、南山大学外国語学部に進学。

一目見て誰もがわかる製品に携わりたいという思いから、日本車輌製造株式会社に就職。

相手のニーズをしっかり引き出し、一品一様の製品を作り上げる。



先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>





いろんなことへ挑戦させてもらえる
環境にやりがいを感じています。

細井 美咲さん(1994年生まれ)
東邦高校出身
名古屋芸術大学 デザイン学部(現:芸術学部)卒業

株式会社アイレクスリティル
長久手市市が洞3-1004(オンセブンデイズ長久手店)
<https://www.on-seven-days.jp/home/>

●必要資格 / 特になし
●主な進路 / 高校卒業→大学に進学し、デザインについて幅広く学ぶ→生活雑貨を取り扱う企業に就職→研修後、店舗に配属

「中学のときは美術部に入っていた、絵やデザインに興味がありました。東邦高校のグラフィックデザインコースに進み、パソコンを使ってポスターやパッケージのデザインを勉強したことが印象深いです。でも当時は漠然と絵を描くことが好きという程度で、具体的な目標はまったく定まっていませんでした」

大学時代について教えてください。

「進学した名古屋芸術大学の特徴は、1年次に幅広くいろんなことを学び、2年次からコースを選択して専門的に学べるところ。私が選択したのは、メディアコミュニケーションをしたりデザインコースです。グラフィックデザインはもちろん、版画や写真についても学びましたし、アニメを作ったりWEBデザインをしたりする講義もありました」

ー仕事について

「オンセブンデイズを知ったのは、長久手店ができたときに母に連れてきてもらったのがきっかけ。中学生のときです。入った瞬間、カワいい雑貨が広がっている雰囲気に惹かれ、それ以来お客様として通うようになりました。最初はただのファンです(笑)。就職活動中に偶然アイレクスリティルを見つけ、採用試験を受けてみようと思いました」

「入社後のこと教えてください。」

「店舗に配属され、最初はひたすらレジとラッピング練習の毎日です。商品数が多いので、レジを打ちながら部門ごとの商品知識を覚えていました」

「なるためには

●必要資格 / 特になし
●主な進路 / 高校卒業→大学に進学し、デザインについて幅広く学ぶ→生活雑貨を取り扱う企業に就職→研修後、店舗に配属

大学時代について教えてください。

「進学した名古屋芸術大学の特徴は、1年次に幅広くいろんなことを学び、2年次からコースを選択して専門的に学べるところ。私が選択したのは、メディアコミュニケーションをしたりデザインコースです。グラフィックデザインはもちろん、版画や写真についても学びましたし、アニメを作ったりWEBデザインをしたりする講義もありました」

ー仕事について

「オンセブンデイズを知ったのは、長久手店ができたときに母に連れてきてもらったのがきっかけ。中学生のときです。入った瞬間、カワいい雑貨が広がっている雰囲気に惹かれ、それ以来お客様として通うようになりました。最初はただのファンです(笑)。就職活動中に偶然アイレクスリティルを見つけ、採用試験を受けてみようと思いました」



ーなるためには

「この仕事の魅力は、お客様のよろこびが私もダイレクトに伝わるところです。あとは、部門をただ担当するだけでなく、いろんなことへ挑戦させてもらえる環境にもやりがいを感じています。私も、新卒採用や興味のあつたバイヤー研修、お店で開くワークショップにも携わっていました」

「この仕事の魅力は、お客様のよろこびが私もダイレクトに伝わるところです。あとは、部門をただ担当するだけでなく、いろんなことへ挑戦させてもらえる環境にもやりがいを感じています。私も、新卒採用や興味のあつたバイヤー研修、お店で開くワークショップにも携わっていました」

「この仕事の魅力は、お客様のよろこびが私もダイレクトに伝わるところです。あとは、部門をただ担当するだけでなく、いろんなことへ挑戦させてもらえる環境にもやりがいを感じています。私も、新卒採用や興味のあつたバイヤー研修、お店で開くワークショップにも携わっていました」

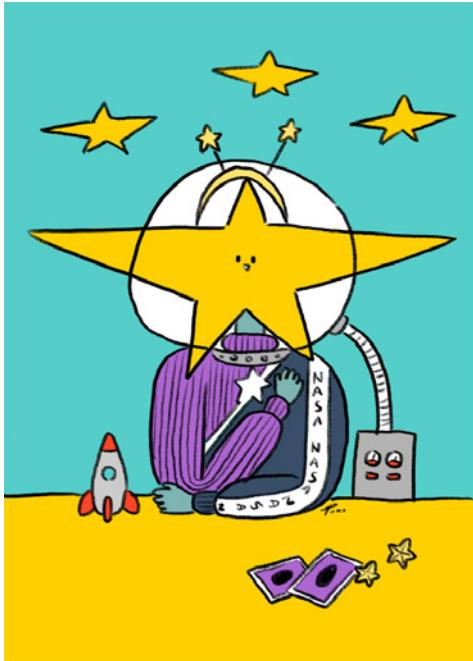


18歳 高校では、パソコンを使ったポスターやパッケージのデザインを学ぶ。
↓
22歳 名古屋芸術大学に進学し、幅広くデザインについて学ぶ。卒業後、アイレクスリティルに就職。
↓
25歳 「1週間に7日通いたくなるお店」をコンセプトに、常に新鮮な売場やお店づくりをめざす。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>





(c)mizoguchitomoya

あつたりしておもしろい」と思い、そこから絵本のような落書きのような絵を描きはじめました。最初はごちやごちやいろんなものを描いていましたが、描くものを絞つていたら、それはもうシンプルな絵になってしましました』

— 下積み時代 —

「下積みの苦労は、いろいろあります。まず、仕事をのり方がわからなかつたし、どういうアプローチをかければいいのかもわかりませんでした。仕事をもらえたとしても自分のタッチで描ける仕事はなかつたので、一生懸命いろんなイラストを描きました。人間関係に悩んだこともありますし、仕事がなくお金に悩むこともありましたね……」

転機になった出来事は?

「僕のなかでは、やっぱりgraniphでTシャツが発売されたことです。graniphでTシャツのコンペ

いろいろなものを吸收して、やりたいこと見つけてください。無謀な目標でもいいし、誰かに笑われても僕は笑いません。目標に向かって進む一步が大事だと思います。

— メッセージ —

「いろんなところへ行つて、いろんなものを見て、いろんなものをいっぱい吸収して、自分のやりたいことを見つけてください。将来やりたいことがないっていうのは寂しいので、無謀な目標でもいいし、誰かに笑われても僕は笑いません。目標に向かって進む一步が大事だと思います。そして、あきらめずに続けることが夢を叶えるための力になると思います。僕は何度もあきらめかけましたが、そのたびに迷つて続けて今があるので、本当に続けてきてよかったです。ありがとうございます！」

ありがとうございました。

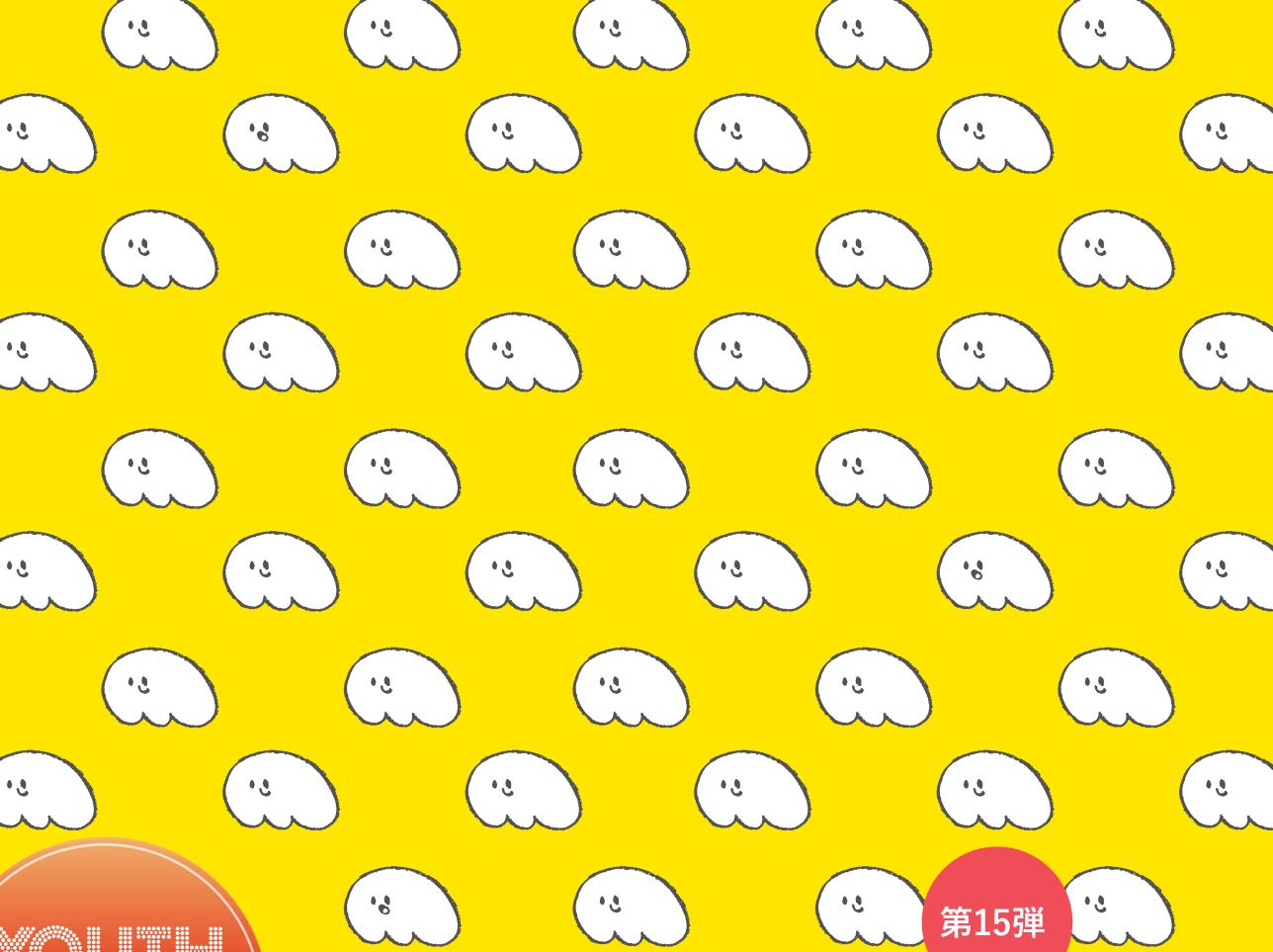
（おひらく）



みぞぐちともやさん(1987年生まれ)
名古屋大谷高校出身 / トライデントデザイン専門学校 卒業

18歳	イラストレーターをめざし、専門学校へ。在学中から積極的に活動を開始。
↓	
24歳	独立してフリーランスに。SNSやWEBを通して徐々に作品が広まる。
↓	
32歳	さまざまなアーティストや本の挿絵など手がける。徐々に海外にも活躍の場を広げている。

（c)mizoguchitomoya



第15弾

名古屋出身の有名人インタビュー

名古屋大谷高校出身のイラストレーター、みぞぐちともやさんを独占取材！

幼少期から絵を描くことが好きだった、みぞぐちともやさん。現在は有名アーティストや本の挿絵イラストなど幅広い分野で活躍していますが、活動当初は苦難の連続だったそうです。それでも挫けずに活動を続け、いまや国内外にとどまらずニューヨーク、パリ、アジアなど世界を股にかけて作品展開をするみぞぐちさんにインタビューしてきました。

— 高校時代 —

「僕が高校生のときは、まだ絵を描くとか漫画が好きだと、そういうのが恥ずかしいと思われるようない仕事を選んで一生過ごすなんて僕には無理だ！」って当時は思っていました。一概にサラリーマンといつてもいろんな仕事がありますけど、立派な職業だとは思いますが僕には無理だ！って當時は思っていました。とにかく僕は、いつからか自分がやりたいことを仕事にしたいと思うようになっていました」

当時の将来のビジョンは?

「サラリーマンには絶対になりたくないと思っていました。やりたくもない仕事を選んで一生過ごすなんて時代でした。なので僕も、かつてアニメを見ないようになっていました」

知つていても知らないふりをした

りしていました（笑）

「専門時代に感じたのは、周りの人が思っていたことをばんや」としか考えていなかったことで、「なれたらいいな」とは思っていたみたいですね。子供のころのアルバムに、當時見ていた教育アーティストやキャラクターを描いた絵がニメのキャラクターを描いた絵が挟んでありました。ずっと漫画家にいたいと思っていましたが、高校生になって進路を考えたとき、夢はシルバーアクセサリー作家か、スニーカーのデザイナーか、イラストレーターかになっていました。最終的に昔から好きだった絵を描くことを仕事にしようと思った、イラストレーターの道を選びました」

「絵は物心ついでないときから描いていたみたいです。子供のころのアルバムに、當時見ていた教育アーティストやキャラクターを描いた絵がニメのキャラクターを描いた絵が挟んでありました。ずっと漫画家になりました。自分がグッズを作つたり、アートをめざして具体的な行動を起したのも専門学生のとき。まずは、路上でポストカードを販売しました。自分でグッズを作つたり、クリエイターズマーケットなどのイベントに出店してみたりもしました。あと、よくある持込です。当時は「とりあえずやらないきや」という気持ちは誰にも負けていませんでした」と思っています。イラストレーターになってやる！」

— 今後の予定は?

「学生のときは、いろんな作家の絵を見て、いろんな作家の絵を見て、「なんて自由でのびのびしている作風なんだろ。落書きのようだけれど、形をしっかりとつけていました」

（おひらく）

— いまの作風になった経緯は?

「学生のときは、あきらめずに描いていました。でも途中で絵本作家の荒井良二さんの絵を見て、「なんて自由でのびのびしている作風なんだろ。落書きのようだけれど、形をしっかりとつけていました」と思っています。僕は何度もあきらめかけましたが、そのたびに迷つて続けて今があるので、本当に続けてきてよかったです。ありがとうございます！」

ありがとうございました。

（おひらく）

「専門時代のことを教えてください。

苦手で…（笑）。あ、でも一枚絵だから描けるんじゃないですか？」と。そ

れでイラストレーターを選びました。

「安直ですね（笑）。高校卒業後は、トライデントデザイン専門学校に進みました」

どれだけ忙しくても、冷静に順序立てて仕事に取り組む強い心が必要。



小山 千尋さん(1998年生まれ)
名古屋市立若宮商業高校 出身
愛知みずほ短期大学 生活学科食物栄養専攻卒業

株式会社サガミホールディングス

名古屋市守山区八剣2-118
<https://www.sagami-holdings.co.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→専門学校・短期大学・4年制大学のいずれかを卒業→飲食店を経営する企業に就職→店舗スタッフとして勤務

「若宮商業高校のコンピュータ部に所属し、毎日タイピング練習やパソコン関連の検定試験の勉強をしていました。将来の夢は特にありませんでした。が、食べるところやお菓子づくりが好きだったので『食』について学べる進学先を探していました」

「自宅から通学しやすく、雰囲気もよかったです。愛知みずほ大学短期大学食物栄養専攻に進学しました。食の知識を学びつつ、週1回の調理実習で中華料理やおせち料理など手の込んだものを作るのがとても楽しかったです。栄養士の資格がとれる学校でしたが、自分には向いていないのではないかと就職について悩んでいたとき、学内企業説明会で飲食店を経営するサガミホールディングスに出会いました。はじめはとりあえず話だけでもと思い聞いていたのですが、人事担当の方々がとてもおもしろく、他社の堅苦しい説明とはまったく違っていたのです。興味をもって会社説明会に参加したあとは、トントン拍子で面接が進み、内定をいただきました」

――仕事について――

「配属前に1週間泊まり込みで内定者研修があり、入社後も5日間の人研修がありました。事前に勤務地の希望調査があり、私は自宅から通勤できる距離のサガミの店舗に配属となり、仕事がスタートします。ホールで接客を経験し、その後調

「新人時代に苦労したこととは?」
「調理場は、揚げ物を作る『天ぷら』、麺を茹でる『釜』、コノロを使う『ガス前』、一品料理を作る『裏方』、『洗い場』、そばを作る『製麺』に分かれました。『大根おろしは何グラム』といった盛り付けマニュアルが決まつていて、はじめは分量を覚えるのが大変でした。また、キレイに、速く、正確に料理を盛り付けることも難しかったですね」

「現在の仕事内容を教えてください。」
「現在は『ガス前』で味噌煮込みうどんやカツ丼を作っています。冬の寒い時期は注文数が多く、すべてのコンロをフル稼働させて同時に作るので、いかに手際よく仕上げ、限られたコンロを効率よく使うかを考えながら仕事をしています」

――やりがい――

「2年配のお客様が鮑から良薬を出されたときに、気づいてお水をお持ちしたり、お茶のおかわりをタイミングよくお出しできたりして『ありがとうございます!』と言つてもうえたときは『自分で考えて動いてよかつた!』とやりがいを感じます」

――学生時代――



――なるためには――

「負けず嫌いな人、メンタルの強い人に向いていると思います。私は同期に負けたくない一心で仕事を早く覚え、成長しているなど感じています。また、土日祝はお客様が多く本当に忙しいので、はじめのころは深く落ち込んでしまったこともあります。どれだけ忙しくても、冷静に順序立てて仕事を取り組む強さが必要です。学生時代に飲食店でアルバイトをしたり、家で料理をしたりといった経験も役に立つと思いますよ」

「お忙しいところ、ありがとうございます!」



18歳

食について学びたいと愛知みずほ短期大学食物栄養専攻へ進学。

20歳

人事担当者のおもしろさに惹かれ、サガミホールディングスに就職。

21歳

頼られる社員になるため、積極的に動き、仕事を覚える日々。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



安心安全な食品をお客様のもとに届けることが私の仕事です。



稻垣 朋香 さん(1994年生まれ)

栃山女学園高校 出身

栃山女学園大学 生活科学部卒業

アルファフードスタッフ株式会社

名古屋市西区名駅2-27-39

<https://www.alpha-food.co.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 管理栄養士 ※必須ではない
- 主な進路 / 高校卒業→大学で栄養学や生化学などを学ぶ
→管理栄養士の資格を取得→食品を取り扱う企業に就職

――**学生時代**――

高校時代の思い出は文化祭です。劇の発表に向けて夏休みも練習に取り組みました。みんなの意見を擦り合わせてひとつつの劇を作り上げたことは、貴重な経験になつたと思います。昔から食べることが好きだったので、漠然と食品に携わる仕事を就きたいと思っていました。

――**大学時代について教えてください。**

栃山女学園大学管理栄養学科に進学しました。講義は栄養学や食品学など、管理栄養士の国家試験に合格するための座学や実習が中心です。なかでも好きだった講義は生化学。栄養素が体の中にどう取り込まれてどんな働きをするのかを学びました。栄養教育論実習では、「子供を対象に、よく噛んで食べる」と「切さ」をテーマにして、紙芝居をつくりて模擬授業をおこないました。

――**仕事について**

就活で軸にしたのは「食品」に携わる企業。大学卒業後、産地やオーガニックにこだわった小麦粉や砂糖、ナツツ、ドライフルーツなどを取り扱うアルファフードスタッフに就職しました。直接のとき自分の考えを一番話しやすかったのが当社。ここなら自分らしく働けると思ったことも決め手になりました。

――**入社後のことを教えてください。**

まずはパートさんと一緒に商品のピッキングや梱包をおこない、商品を覚えることから。種類が多いので覚えるのは大変でした。学生時代は課題など自分で完結するこ

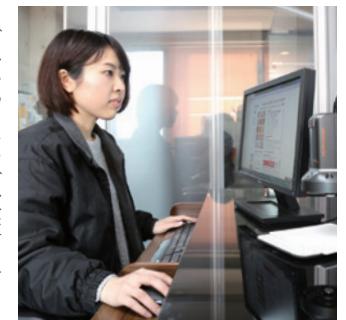
とが多かったです。ですが、仕事はひとりではできません。まわりをしっかりと見て優先順位を決めるの大切さを先輩に教わりました。発注から発送までがスムーズになる仕組みを提案したり、パートさんが働きやすい環境づくりも心がけています。

――**現在の仕事内容を教えてください。**

現在は、ECサイト(オンラインショッピング)の運営を担当しています。安心安全な食品をお客様のもとに届けることが私の仕事です。注文の受付と処理、在庫と生産数の管理、メールや電話での問い合わせ対応をおこなっています。あとは、取り扱う食材を使ったレシピ作成も。ほかのスタッフと協力し、お月見やバレンタインなど季節感を出したレシピ作成をおこなっています。

――**やりがい**

「どの商品がいいですか?」というお客様からの問い合わせに対し、オススメした商品を「試してみようかな」と言って購入していただけます。うれしいです。『このレシピを参考にしてます。おいしかったです!』という声にもやりがいを感じます



18歳 食べることが好きだったこともあり、漠然と食品に携わる仕事を志す。

↓
22歳 栃山女学園大学に進学。栄養学や生化学を学ぶ。管理栄養士資格を取得。

↓
25歳 アルファフードスタッフに就職し、ECサイトの運営を担当。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



――**なるためには**――

私は**管理栄養士**の資格を取得しましたが、働くうえで特に必須となる資格はありません。食品に興味がある人であれば大丈夫ですよ。試作をしてください。経験したことや身につけた知識は、社会に出たときや何

あるので、大学で専門的な栄養や食品の知識を学んでおくと商品の強みを考える際に役立つと思います。学生時代は学校の中だけでなく学校の外にも出ていろんな経験を繰り返して食べ比べをすることもないので、大学で専門的な栄養や食品の知識を学んでおくと商品の強みを考える際に役立つと思います。

――**ありがとうございました。**

ありがとうございました。

**安全かつ時刻通りにお客さまを
目的地まで届けることが私の仕事です。**

なるためには



玉井 岳さん(1987年生まれ)

名古屋市立緑高校 出身
中部大学 人文学部卒業

名古屋鉄道株式会社

名古屋市中村区名駅1-2-4
<https://top.meitetsu.co.jp/>

●必要資格 / 動力車操縦者運転免許
 ●主な進路 / 高校卒業→大学に進学→鉄道会社に就職→駅員を経験→車掌を2年以上経験→国家試験に合格し、動力車操縦者運転免許を取得→鉄道運転士

なるためには

「もともと乗り物が大好きで、子供の頃からこの仕事を就きたいと思っていました。キビキビした指差確認の動きや、大きい乗り物を動かしている運転士の姿は本当にかっこよかったです。高校卒業後は、興味があつた分野を学ぶため、中部大学歴史地理学科に進学しました」

「大学時代のことを教えてください。」

「講義は、歴史と地理を融合した内容が中心です。例えばたら製鉄について歴史的な観点と地理的な観点から研究したり、大曾根などの町の歴史を勉強しました。ゼミでテーマにしたのは、名古屋の市バスの実態。実際に乗客の意見を聞いて、利用目的や乗客の多い路線と閑散路線の違いなどを調査しました。大学卒業後は、名古屋鉄道に入社しました」

ー仕事についてー

「入社後半年ほど駅係員としてお客様との案内や出札業務などを経験しました。それから車掌を3年間経験。ドアの開閉や車内アナウンス、車内巡回や車内改札などを経験しました。一般的に、駅係員を半年から1年、車掌を2、3年経験する」と、**動力車操縦者運転免許**の国家試験を受けることができます。試験合

格後、約半年間の見習い期間があります。運転理論や運転規則、電車の仕組み、故障時の対応などを学科講習で学び、約4ヶ月間の技能講習では教導運転士の横に付いて運転技術を学びました」

「もともと乗り物が大好きで、子供の頃からこの仕事を就きたいと思っていました。キビキビした指差確認の動きや、大きい乗り物を動かしている運転士の姿は本当にかっこよかったです。高校卒業後は、興味があつた分野を学ぶため、中部大学歴史地理学科に進学しました」

「大学時代のことを教えてください。」

「講義は、歴史と地理を融合した内容が中心です。例えばたら製鉄について歴史的な観点と地理的な観点から研究したり、大曾根などの町の歴史を勉強しました。ゼミでテーマにしたのは、名古屋の市バスの実態。実際に乗客の意見を聞いて、利用目的や乗客の多い路線と閑散路線の違いなどを調査しました。大学卒業後は、名古屋鉄道に入社しました」

ーやりがいー

「入社後半年ほど駅係員としてお

客さまの案内や出札業務などを経験しました。それから車掌を3年間経験。ドアの開閉や車内アナウンス、車内巡回や車内改札などを経験しました。一般的に、駅係員を半年から1年、車掌を2、3年経験する」と、**動力車操縦者運転免許**の国家試

験を受けることができます。試験合

格後、約半年間の見習い期間があ

ります。運転理論や運転規則、電車の

仕組み、故障時の対応などを学科講

習で学び、約4ヶ月間の技能講習で

は教導運転士の横に付いて運転技

術を学びました」

「「やりがいを感じるのは、勤務終わりの点呼で、何事もなく「異常ありませんでした」と終われた時。私の

後ろには多くのお客様がいて、皆

さまの命を預かっているという責

任感と緊張感を常に持つて運転し

ています。勤務終了後は、張り詰め

ていた神経がほぐれて気気持ちの

い脱力感があるのですが、それがな

んとも言えない快感なんですね」

ー学生時代ー

ーなるためにはー

「鉄道運転士は『安全を確保するため』定められた規則に基づいて仕事をします。当然のことですが、

決められた規則を守れない人に

は難しい仕事です。皆さん自身

な例では、学校や部活動など組織

で定められたルール、ご家族と決

めた約束事などが挙げられるで

しょうか。日頃のちょっととしたこ

とからで構いませんので、清く、

正しい行動をし、規則正しい生活

を送るよう心掛けることが大切

だと思います!」

「お忙しいところ、ありがとうございます!」



18歳

↓

22歳

↓

32歳

合唱部に所属し、部活に励んだ高校生活。卒業後、中部大学に進学。

ゼミでは市バスの実態を研究。大学卒業後、名古屋鉄道に就職。

何事もなく1日を終われるよう、責任感と緊張感を持って仕事に励む日々。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>

